

# みなみの里

発行 社会福祉法人 志紋福祉会 みなみの里 題字：屋部憲次郎氏筆  
発行人 久手堅 米子 〒901-0333 糸満市字摩文仁207番地 TEL.(098)997-3900



## 社会福祉法人 志紋福祉会の基本理念

### 愛のサービスの実践

私たちは、「命どう宝」の生命尊重の精神を守り、社会生活における弱い立場にある利用者が「安心」して、喜びと希望に溢れた愛のサービスの実践に努めます。

### 笑顔のサービスの実践

私たちは、来る人を誠意を以って受容し、利用者と希望を語り合い心を癒す笑顔のサービスを実践して利用者の自立(自律)と能力の開花を実現するように努めます。

### 優しさのサービスの実践

私たちは、この理念を実践するため、つねに「わざ」と「感性」を磨いて利用者へ優しいサービスを提供して「お客様の満足度」並びに「地域社会の満足度」を高めるように最善を尽くします。

**キーワード** 生命尊重 安全・安心 喜び・希望 心を癒す お客様の満足度 地域社会の満足度 わざ・感性



# 「故理事長 久手堅憲一の生涯」



昭和10年7月8日、神楽原東風平町にて出生。琉球政府立糸満高等学校卒業、同志社大学文学部社会学科社会学福祉学専攻卒業、同志社大学大学院文学研究科社会学福祉学専攻修士課程修了（文学修士）。

## 《略歴》

昭和10年7月8日、神楽原東風平町にて出生。琉球政府立糸満高等学校卒業、同志社大学文学部社会学科社会学福祉学専攻卒業、同志社大学大学院文学研究科社会学福祉学専攻修士課程修了（文学修士）。

## 《職歴》

兵庫県社会福祉協議会調査広報部主事、社会福祉活動指導員、社会福祉法人イエス団神戸保育専門学校専任講師に採用、佛教大学社会学部社会学福祉学専任講師に採用、法務省那覇保護観察保護観察官に採用、沖縄県社会福祉協議会地域部副部長に採用、沖縄県社会福祉協議会総務部長に就任、社会福祉法人志教福祉会みなみの里（知的障害者更生施設）理事長・施設長に就任、琉球大学法文学部社会学科講師に採用、助教を経て教授に昇任、定年による退職、沖縄大学人文学部助教、教授昇任、退職、社会福祉法人志教福祉会みなみの里理事長（専任）、名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授、名誉教授の称号を授与。

## 《社会活動等》

糸満市保護司、沖縄ソーシャルワーカー協会初代理事・事務局長、地域福祉学会理事、元代目会長、糸満中学校PTA会長、糸満市教育委員・委員長、沖縄県知的障害者福祉協会副会長、沖縄県福祉協議会理事、沖縄県社会福祉協議会地域福祉委員会常任協議員、沖縄県民間社会福祉施設振興資金運営委員長、糸満市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員長、那覇市社会福祉協議会企画財務委員会委員、東風平町障害者計画策定委員会委員長、沖縄県社会福祉サービスマネジメント委員会・苦情処理委員（第三者委員）。

## 《学会等》

日本ソーシャルワーカー協会会員、沖縄ソーシャルワーカー協会会員、沖縄ソーシャルワーカー協会理事・事務局長、日本地域福祉学会会員、日本社会福祉学会会員、沖縄地域福祉学会会員、日本社会福祉文献学会。

## 《主要著作目録》

《著書》「社会福祉の基礎知識」（共著）、「社会福祉」（共著）、「介護福祉におけるレクリエーション指導の実態」（共著）、「沖縄の地域福祉実践」（共著）、「地域福祉辞典」（共著）、「社会福祉方

法論の発展間」（共著）、「グローバルワーカーの理論と実践」（共著）、「社会福祉の理論と実践」（共著）、「地域福祉活動計画づくりにおけるグループワーク事例」（共著）、「福祉グループワークの理論と実践」（共著）、「地域福祉」四訂社会福祉の理論と実践」（共著）。

## 《学術論文・調査報告等》

若い力を社会福祉へ（ひびゆうまん7月号）専門職としてのサービスマネジメントから、経済大回の中の底辺―沖縄の住民福祉―「高齢」、老人ホームと在宅サービス「老人福祉」第5号、長寿の時代と老人ホーム（階）に生きるわれら兄弟（第8号）精神薄弱者保護施設における自立・就労運営の安定化について「福祉おきなわ」第18号、知的障害者の自立的な生活支援への取り組み―ノーマライゼーションの実践―「琉球大学法文学部紀要 地域・社会科学研究」社会福祉に関する市民意識調査報告書、地域福祉問題とニーズの変化―社会福祉の地域福祉指向と制度化―「琉球大学法文学部紀要 地域・社会科学系」第2号、志教福祉会・みなみの里の回顧と展望―みなみの里創立10周年記念誌、復帰前の沖縄における地域福祉の展開―福祉協会の活動を中心にして―「琉球大学法文学部人間科学科紀要 人間科学」。

## 《志教福祉会での活動》

知的障害者更生施設準備のため県社協を退職、久手堅家より当初3000坪の土地提供があり施設建築を決定、社会福祉法人志教福祉会みなみの里（知的障害者更生施設）を創立・開園。理事、施設長としてはじめに知的障害者の福祉に専念する。定員10名で沖縄の施設

設では初めて自閉症の利用者が入所する、社会福祉法人志教福祉会みなみの里理事長に施設長に就任、琉球大学専任のため副理事長、久手堅米子が理事長施設長、自振補助による30名の定員増、増築工事を完了、4月より80名定員となる、地域交流ホーム新築工事完了（日本自転車振興会助成、施設の際に面している久手堅家の土地9000坪を社会福祉医療・事業団借入で確保、敷地も総計13411㎡（4000余坪）に拡張される、創立10周年記念県外旅行（宮上山・東京デイズニールランドの旅）、知的障害者短期入所事業開始。

「みなみの里開園15周年記念旅行」実施要綱（関西・奈良・ユニバーサルスタジアムの旅また石垣・竹富島の旅、グループホーム「サンフラワー」開所、重症心身障害児（者）通園事業（なのはな）開所、本棟外装塗装・屋根防水改修工事完了（中央競馬馬主社会福祉財団助成）、みなみの里相談支援センター開設、みなみの里生活介護事業開始、創立20周年記念県外旅行。

## 《表彰等》

沖縄県社会福祉協議会会長表彰（公務功労）、沖縄県青少年育成財団会長表彰（子ども会育成活動）、沖縄県知事表彰（青少年健全育成活動）、糸満中学校PTA会長感謝状（PTA会長としての活動）、全国保護司連盟会長表彰（更生保護活動）、法務大臣感謝状（保護司社会奉仕活動）、同志社大学社会福祉学会賞（実践活動部門）。

## 《家族・趣味》

母97歳、父80歳没、妻、子一男五女、社会福祉、旅行、鑑賞（演劇・歌劇、映画・音楽・美術）、読書。



## みなみの里夏まつりに寄せて

みなみの里保護者会会長 渡慶次 春信

今年は何年にもない暑い夏になりそうです。ここ3、4年台風は沖縄には接近しなかったのですが、今年はすでに2号、5号と沖縄近海を通過しましたので、農作物等の被害が気になります。今年は台風の当り年なのかな、と心配しているところですが、

このような中、みなみの里においては、恒例の一大イベントである

この夏まつりは、みなみの里年間行事の中でこどもたちがとても待ちわびている行事の一つでありますので、私たち保護者もこどもたちと一緒にその雰囲気を感じながら楽しい一時を過ごしたいと思っております。

今年度は障害者自立支援法に基づく新体系の関係で、みなみの里においては保護者や市町村との対応等で例年になく忙しい中、このように夏祭りの開催を計画していただき保護者として有難く感謝の気持ちで一抔です。

つきましては、私たち保護者はこれまで以上に結束すると共に、みなみの里との更なる連携を図り、こどもたちの生活環境が更に向上するよう頑張る所存でありますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

平成23年7月1日

## 平成22年度みなみの里保護者会行事報告書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

月	日	行事名	内 容 等
4	9	会計監査	平成22年度会計帳簿、証憑書類の監査
	21	第1回評議員会	平成22年度事業内容、決算報告及び23年度行事予定及び予算案の検討
5	10	3 役会議	評議員会を受けて、総会日程及び総会提案議題の最終検討
	16	平成22年度定期総会	平成21年度行事報告、決算報告、監査報告及び22年度行事予定、予算案の審議
6	17	第2回評議員会	施設行事協力金について、育成会九州大会（宮崎）について 県育成会運営資金調達事業（ノーマン販売）協力について
7	18	第1回保護者会	育成会九州大会について（報告） みなみの里後援会への参加協力について 育成会資金調達事業（手延べもーめん販売）への協力について みなみの里夏まつりについて
8	27	第3回評議員会	保護者学習会（津堅島10/31）について 育成会文化祭りについて
9	12	第2回保護者会	育成会全国大会（滋賀）への派遣について（参加希望者なしの報告） 九州大会参加者からの挨拶 園からの挨拶（理事長）
10	8	第4回評議員会	保護者学習会の場所、日程について（津堅島10/31） 保護者会活性化についての意見交換
11	28	第3回保護者会	保護者学習会の中止について みなみの里後援会主催チャリティ公演について みなみの里からの連絡事項
12	8	第5回評議員会	保護者新年会について 保護者会費の回収状況について
1	30	第4回保護者会	保護者新年会について 沖縄県知的障害者教育、福祉、就労研究大会の参加の周知 みなみの里からの連絡事項
2	10	第6回評議員会	保護者会新年会について 23年度役員改選について
	25	保護者会新年会	場所：リオ 男性10名 女性14名 計33名参加
3	19	第5回保護者会	年度末及び新年度に向けての周知事項 みなみの里感謝祭に伴い園内清掃

## 平成23年～24年度 みなみの里保護者会 役員・評議員名簿

### 会 長

渡慶次 春 信（総括）

### 副会長

金城 弘（総括）  
桑 江 ミヅ子  
（総括（兼）会計）

### 監 事

真栄城 嘉 訓（監査）  
名 嘉 美智子（ ）

### 評議員

宇 座 光 子（総務）  
田 福 栄 子（ ）  
新 城 美 佐 子（ ）  
新 垣 洋 子（ ）  
宮 里 鶴 子（ ）  
照 屋 清 子（厚生）  
友 利 渡 喜 子（ ）  
仲 座 次 郎（施設）  
平安山 良 光（ ）

## 平成22年度 班活動報告

## 生産班



4月に1頭、2月に2頭、3月に2頭、5月に3頭の羊が産まれた。週に3〜3回はエサの草の葉を刈りに行っている。1頭は山羊料理店に売られました。

野菜の生産に関して、22年度も夏は「オクラ・ヘチマ・冬瓜」を中心に冬は「キャベツ・大根・ブロッコリー・インゲン・茄子」を中心に4種類の作物を生産し出荷しました。

無人販売店が地域の方々に人気で喜ばれています。朝早く「何時に無人販売店が出るのか」などの問い合わせや、郵便局や近隣施設からの野菜の注文もありました。今後も利用者さんの作業意欲の向上、及び地域の方々との交流の場

の一環として掘え継続していきます。

園芸の方では22年度も平和公園花壇管理業務を契約する事が出来た。5月・10月・2月に花苗を植えつけました。また、平和創造の森公園からも年4回、計16、000鉢の花苗の納品の契約を結ぶことが出来ました。

今年度から生産班に加入した渡久地さんや西本比田さんも積極的

に作業をこなして中心の戦力です。みなさん作業の流れを大分把握してきていて、特に指示を出さなくても積極的



## 受託班



受託班は主に琉球ガラス材料様から受託された「ガラスの欠片」の作業を行っています。4色のガラスの欠片を4割に色分け、袋に詰める作業です。ガラスの選別（色分け）、ガラスの計量、袋詰め作業、商品名の書かれたシールを貼る作業を個々の能力に応じて分担し1つの商品とし納品しています。

今年度は結び織り（足拭きマット）の製作にも力を注ぎました。受託班の利用者全員が、うるま市の縫製工場に出掛け、廃品の布を大量に頂き、その中から足拭きマットに利用できる布の選別を行いました。布の織り、布のカッ

ト、結び織り、それぞれの役割があり協力しあって初めて一つの作品に仕上がります。

完成した足拭きマットを感謝祭にて保護者のみなさまに紹介したところ、とても好評で利用者さんも大満足されていました。

また、2月からシュガーロード様より「香玉の袋詰め」の新しい作業を受託し新しい作業に取り組んでい

ます。単純で簡単な作業ですがみなで協力し取り組んでいます。



## 工芸班



22年度の工芸班は利用者12名、職員1名で新しい作品作りを採り、試行錯誤をしながら作業を行っていました。

また、機能訓練の一環としてビーズ通しやパズル入れ等も日課に取り入れ集中心力や持続力を養うことも出来ました。

空き缶回収やダンボール回収もこれまで通りに継続しており、収益を上げることができ作業意欲も向上しています。



年間を通して大きな事故や怪我も無く無事に作業（日課）が出来た事は、工芸班みなさんの一番のがんばりだと思います。

## 生活班



生活班は男子利用者23名、女子利用者14名のみなみの里で一番人数の多い班です。

午前中は会議室にて「リトミック」を行ない、午後は中庭での歩行やバランスボールを使った機能訓練を行っています。

毎週金曜日に行っている「音楽療法」も3年目を向かえ、みんな楽しみにしている日課の一つとなりました。

毎日の体調管理や怪我等が無



じた活動をこれからも行っていきたくと思います。

## 生活介護事業

仲地 長一



こんにちは、みなみの里「生活介護事業」の仲地長一です。これまで約七年間入所施設での生活支援員として働かせていただきましたが、今年の1月から生活介護事業へと異動となり、早くも半年が経ちました。異動当初は、不安もありましたが、他の支援スタッフや保護者のみなさんの支えもあり、現在は楽しく働かせていただいています。これから利用者さんの思いやニーズに沿った日中活動や生活支援のサービース提供ができるように頑張らせていただきます。

さてここで、平成22年度の生活介護の活動状況を報告させていただきます。利用者登録数16名(平成22年3月現在)、22年度の日当たり平均7.3人でした。

22年度の行事では、4月はスカイレーンにてボウリング大会、六月はハイリー見学とピクニック(沖縄こども園)を実施。8月

は夏祭り、9月は入所棟と合同で地域スポーツ交流会、11月は社会見学(神縄県立博物館・美術館)、12月は忘年会、1月は初詣外出、新年会(入所と合同)、2月は桜見学会(保護者面談)を予定通り行うことができました。また、個別支援外出を二回実施することができました。

平成23年の1月から支援スタッフも入れ替わりがあり、利用者さんにも少し戸惑いや不安を与えてしまいましたが、スタッフの雰囲気やチームワークも良く、明るく楽しく利用者さんに関わりながら日々を過ごしています。今年度も一丸となって生活介護の利用者さんや保護者さんを支えていき、より充実したサービスが提供できるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

は夏祭り、9月は入所棟と合同で地域スポーツ交流会、11月は社会見学(神縄県立博物館・美術館)、12月は忘年会、1月は初詣外出、新年会(入所と合同)、2月は桜見学会(保護者面談)を予定通り行うことができました。また、個別支援外出を二回実施することができました。



## みなみの里相談支援センター活動報告

相談支援専門員 久手室憲太

みなみの里相談支援センターは市町村相談支援事業、神縄県障害児等

療育支援事業、神縄県障害者等相談支援体制整備事業を行っています。平成22年度の事業実施状況について報告します。

### 1、相談支援事業

相談支援専門員が家庭訪問等により相談に応じ、各種福祉サービス提供の援助、連絡、調整等を行う。以下市町村ごとの相談件数。

八重瀬町	549件	糸満市	29件
豊見城市	5件	那覇市	14件
南風原町	4件	その他	1件

### ◆八重瀬町障害者自立支援協議会の活動

八重瀬町の相談支援事業を受託しており、障害を持つ方も住みやすい地域づくりを検討するため、八重瀬町自立支援協議会における実務者会議及び作業部会に関わっている。22年度は障がい者の就労について取り組んでいく為、新しく「就労支援部会」が誕生した。

八重瀬町相談支援事業実務者会議	12回
地域資源マップ作り委員会	9回
集いの広場委員会	7回
就労支援部会	4回

### 2、神縄県障害児等療育支援事業

◆在宅支援訪問療育等支援事業  
地域巡回による相談・指導として糸満市と南部福祉保健所にて言語聴覚療法、診察を実施。

巡回相談	実施日数	24日
	利用延べ人数	140人

◆在宅支援外来療育等指導事業  
外来の方法により音楽療法、料理

教室を実施

音楽療法	実施日数	40日
	利用延べ人数	245人
料理教室	実施日数	12日
	利用延べ人数	66人

### 3、神縄県障害者等相談支援体制整備事業

障害者の相談支援に関するネットワーク構築に向けた指導・調整等の広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進し、在宅の障害者の福祉の向上を図ることを目的として、神縄県からの受託により実施。相談支援に関する専門職員(アドバイザー)を配置し以下の業務を行う。

- ① 広域的障害者等の相談支援に関するネットワーク構築に向けた指導・調整
- ② 広域的課題、複数圏域にまたがる課題の解決に向けた体制整備への支援
- ③ 圏域内の相談支援事業者が実施する業務のうち対応困難な事例に関する助言等
- ④ 市町村に対する地域自立支援協議会の立ち上げ及び運営等に関する助言等
- ⑤ 圏域における専門的支援システムの立ち上げ及び運営等に関する助言等
- ⑥ 相談支援従事者の連携強化や資質向上に向けた助言等
- ⑦ 相談支援に関する地域の社会資源の点検、開発等に関する助言等

# なのはな事業報告

主任員 伊敷 健

みなさん、こんにちは。重症心身障害児・者通園事業なのはなです。

なのはなは昨年度も公休日を除いた月曜日から金曜日まで利用者を受け入れてきました。登録利用者数は12名(平成23年3月末時点)で、一日あたりの平均利用者数は4・8人でした。近隣市町村(糸満市、豊見城市、八重瀬町)に住んでいる方の日中活動の場として、重要な役割を持っています。なのはなの一日はまず、利用者



朝の会の後、午前日課を行い、次は楽しいお昼ご飯です。なのはなの皆さんは一人ひとり、お食事のスタイルが違います。普通食や刻み食、ミキサー食...利用者の状態に合わせた食事を、個性に応じた食べ方で頂いています。型は違っ

さんの自宅までお迎えに行く事からスタートします。通園というスタイルなので、家庭での様子(睡眠状態、食事状態、排泄状況の確認)を申し送りしながら、一人ひとりの利用者の状況を把握します。なのはなに着いた後は排泄、水分補給を行いながら過ごし、皆の準備が整った所で朝の会が始まります。朝の会では利用者のみならずとのあいさつ、手遊び、ボ

ディタッチ等で触れ合い、一日の始まりを感じます。なかでも「ふれあい体操」は人気のあるプログラムの一つです。横になった状態から、曲に合わせて体の部分をさわっていきます。イントロが流れた時点からニコニコと笑う方もいらつしやいます。

ても、食事を楽しいと感じてもらえる様、職員は雰囲気作りを大事にしています。

その後、歯みがきやリラククスタイムを経て、午後日課、おやつ、帰りの会、といった流れで利用者の皆さんを自宅までお送りすると共に、なのはなでの様子を保護者の皆さんに申し送りをします。

これがなのはなの一日の流れとなっています。読んでくれている皆さんも、ぜひ一度、「なのはな」に足を運んでいただき、雰囲気を感じてもらえれば、幸いです。

## グループホーム「サンフラワー」

謝名志野子

グループホームサンフラワーが開所して、今年で9年目になります。

今年も余暇活動の中で、地域行事への参加が以前より増え、楽しく毎日を送っています。

また、最近ではグループホームでの一人ひとりの役割が出来ていて、大山さんは、みんなを引っ張るリーダー的存在、上地さんは場

を和ませるムードメーカー、安座間さんは相変わらずマイペース、宮城さんは周りの手伝いと、少しずつではありますが、サンフラワーが一つになってきています。

グループホーム4人も年を重ね、ますます健康管理が、とても重要となってきており、食事の内容と量に気をつけて、少しずつ運動を取り入れています。

さらに、これからも地域貢献の一環として、清掃活動に取り組みうと計画中です。

今後もグループホーム4人が充実した生活を送ることが出来るように、一人ひとりのニーズに合わせて、4人の声に応じていけるよう支援していききたいと思います。



旧正月 久手堅家にて

# のおもいで



## ゴールデン ウィーク外出



## 海 水浴



## 新年会 & 生年祝い



# 2010年



## 夏祭り



## Tボール大会



## 感謝祭



## 職員研修報告



## 「第33回てんかん基礎講座に参加して」

生活支援員  
庄司 典人

私は、平成22年7月29日、30日の2日間に開催された「第33回てんかん基礎講座」に参加してきました。

その中で学び、初心を思い出させてくれたことの一部分を皆さんに紹介したいと思います。てんかんを持つ人の精神症状として、抑うつや不安を抱えていることや、抗てんかん薬の副作用として、眠気、不眠、攻撃性、妄想、錯乱が生じる事が有ります。いつ発作が起こるのか？という不安や、対人関係のストレスが原因であると言われています。例えば、発作があり、その後に来る眠気のために、仕事にでられない、眠気が強く出て仕事への意欲がわからない。仕事に出ることがで

きたとしても、周りの人に判ってもらえず注意され、落ち込む。自分ではどうすることも出来ないことを非難される。このことが何度も繰り返されるため、抑うつになり、うつから抜け出すことがとても難しくなります。みなみの里の利用者さんは、てんかんだけでなく、脳等の障がいから、抗てんかん薬の副作用と同様の精神症状が生じる事や、他の様々な精神薬の副作用が生じる事が有ります。私達は、利用者さんが、今日は、作業に行きたくない、眠いということ、どのよう捉えていたかと思うと、とても恥ずかしくなりました。まず、本人の状態や訴えを受容し、薬の副作用のこと、障がいの特性のこと、その人が生まれてきてから育ってきた環境による精神(心)の発達の状況等の背景を考える事が大切であるということでした。利用者さんを注意することは、心をどんどん追い詰め、うつや問題行動といわれるものを増やすことになり、状態を悪化させるだけであることを学ばされて

しました。私達支援員は、利用者さんが、作業に参加したい、参加することは楽しいことだと感じてもらえる環境をつくる事が大切だと思えました。これは作業だけではなく、日常生活にもいえることだと思えます。日常生活でもストレスを少しでも軽減し、日々の生活が楽しいと感じることで、利用者さんの心を追い詰めることのない環境があれば、すばらしい結果が生まれるのではないかと思います。自分の支援の形を注意を減らし、褒めることに一生懸命！そんな職員を目指したいと思えました。

## 「社会福祉施設

## 新任職員研修」



根間 香

皆さんこんにちは、みなみの里に勤務して3年目になる根間香と申します。去年の5月20日・21日の2日間「社会福祉施設新任職員研修」に参加させて頂きました。勤務して1年経ち仕事にも

だいぶ慣れてきた頃に研修の話がいただけて良いチャンスと思えました。参加してみると入社しての若い人や年配の方もいて年齢層も幅広く98名の方が参加していました。研修の内容は、1日目は沖縄県社会福祉士会の竹藤登さんによる講義「社会福祉の理念と動向」、グループ討議で「社会福祉施設に勤務して」、2日目は那覇日経ビジネス学院の講師による「接遇と人間関係のつくりの基本とマナー」の講義と演習、「比謝川の里」の渡口彦直さんによる講義「社会福祉職員に求められるもの」でした。その中でも私が一番心に残っていることは、社会福祉施設の職員として「しなければならないこと」「してはいけないこと」のグループ討議でした。グループでの話し合いでは、しなければならぬことは、毎日の挨拶、いつも笑顔で優しく対応、体調の変化にすぐに気づいてあげる等、してはいけないことは、仕事を好き、嫌いで分ける、利用者に対しての暴言、暴力等と当たり前の事であってとても大切な話し合いでした。仕事にも慣れてきて気持ちに余裕が持てて来た時のこの研修は、私の気持ちを引き締め、「初心を忘るべか

「知らず」この言葉の大切さを改めて知る事が出来ました。今年から生活介護に異動になり、以前いたのはなどは違う支援が必要であったりともまた初めからのスタートになりました。研修の内容を思い出し日々勉強していきたいです。

## 九州地区知的障害者 関係施設職員研修 佐賀大会



村田 実文

平成22年10月14日(木)より(連)まで唐津シーサイドホテル、唐津ロイヤルホテルで「第41回九州地区知的障害者関係施設職員研修佐賀大会」に参加しました。

テーマは「魅力ある地域社会での暮らしを求めて」で趣旨としては昨今の福祉の動向を踏まえて福祉サービス従事者が柔軟に対応できる体制づくり、多様化する利用者の方々のニーズに対して高い専門性と豊かな人格の必要性、障害者の方々の様々なライフ

ステージについて事例を踏まえながら考慮し福祉サービス従事者の資質向上を目指す研修研鑽を目的として行われました。

初日の14日(木)は「知的障害者福祉の今日的課題」というタイトルで川崎医療福祉大学・学長岡田喜篤氏の基調講演、分科会では

「住まい」「仕事」「支援」「児童」「医療・食事管理」「関わり」「事務経理」の7項目に分かれてグループワークをもち具体的な取り組みや今後の課題についての話し合いがなされました。

二日目の「豊かで安心安全な生活を支えるには」というテーマでシンポジウムが行われ佐賀県内6施設の現状と取組み等が発表されていました。この二日間の研修を通じて自分なりに施設における新事業移行の必要性や地域との連携の重要性深く感じさせられました。また豊かで安心安全な生活を支えて行く為の専門的な支援のあり方を再認識する事が出来ました。この研修に参加させて頂けたことに深く感謝しております。



## Dルーム改造



支援課課長  
山城 達雄

以前から指摘のあったDルーム出入口の段差(約30センチ)による転倒、転落の危険性について、院内での事故、ヒヤリハット報告の統計を出したところ、その周辺の廊下での事故が上位を占めていました。

支援課会議をはじめとする各種会議でも検討を重ね、対策を考えましたが、段差の構造が事故を引き起こす要因になっている事は誰もが認めるところですが、Dルーム自体をどう変えていくのかと？というのが問題でした。

利用者にとって家庭的雰囲気、憩いの場所であるべき和風の空間をすべて取り払い、廊下の延長としてフロア状に構造を変えるべきか、または段差の前に吸収マット等を敷く案も出しましたが、畳やマットをフロアに敷くとそれ自体の厚さが段差となつて足を引っ掛けるリスクとなります。歩行困難者には段差の大小はそ

れほど関係ないようです。

結論として、家庭的な団築をもたらす現状の骨間を有するDルームは必要であり、段差の手前に柵を設け、出入口を狭くして近くに手すりを設置する事になりました。

また、柵自体が壁状に見えないようにその高さにも気を配りました。

設置後Dルーム及びその周辺での転倒事故等はその後発生しておりません。懸念された柵の上を飛び越える利用者もほとんどいません。柵自体が手すりの役目も担っているようです。

今後とも気を緩める事無く、事故の防止を未然に防ぐ事を職員一同努めていきたいと思っております。



## 栄養士より



伊保 綾子

私がみなみの里に栄養士として勤めて二十年が過ぎました。

当時五十名だった利用者も八十名近くになり、通園事業や生活介護事業の利用者も増え賑やかに過ごしています。

福祉施設の制度も措置制度から支援費制度になり、来年度からは自立支援法による新体系への移行が決まり、職員一同それに向けて取り組んでいます。

施設の給食業務に関しては、一年に3回ある心身障がい児者施設栄養士連絡会の中で情報交換を行っていますが、まだ新体系への移行を行っていない施設が多く、どのような書類が必要で、現在提供している給食がどう変わるのか？と不安と戸惑いを隠せない栄養士が多くいます。

新しい制度に移行した施設の栄養士から、書類作りや各部署との

連携など情報を得ることが出来少しずつ見えてきたところです。

これからの給食業務が一歩ずつ前に進むように勉強していかないと改めて思いました。

今年度より利用者の皆さんに分かり易く、食事への楽しみが大きくなればと思いい写真付きの献立表を作成し、支援員室前と食堂内に貼り出しています。

しかし、利用者の健康管理や維持などを考えると、利用者が好きな物ばかり出すわけにはいきませんが、美味しいと思えるようパランスを考えて行きたいと思えます。



写真付きの献立表

これからも、厨房をはじめ全職員の協力を借りながら努力して行きたいと思っています。

## 新職員紹介



なのはな  
宇栄原市子

なのはなにきて11月でもうど一年になります。

みなみの里、なのはなには短大時代に実習でお世話になりました。勤務していると実習とは全く違った視点からものごとが見えてきたりまた、感じる事も多くあります。

まだまだ支援員としては一人前ではありませんが、利用者さんと関わっていく中で自分自身も成長できるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。



なのはな  
東江かおり

## 「入職半年を経過して」

はやいもので入職して半年が過ぎました。

最初の頃は、環境に慣れずうまく対応出来るか不安がありました。利用者の方の笑顔にはげまされ頑張っています。

3歳から12歳まで利用者がいる「なのはな」の日々の活動を通して、すこしずつではあります。利用者の成長ぶりがかがえ、生きていく素晴らしさや家族の絆の深さに感動しています。



みなみの里  
上地光也

今年の4月15日よりみなみの里の調理場で勤務する事になり2ヶ月経ちました。

更生施設内での調理を行うのは初めてです。調理内容なども各利用者によって調理方法も変え提供を行うため、利用者の名前といただく食事内容など先輩の皆さんにおそわりながら1日も早く私も利用者の方々に。おもしろい食事時間が過ごせるように頑張りたいと思います。

## 日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団から助成金の交付を受けて「2010年度福祉車両助成事業」を完了いたしました。

ここに、事業完了のご報告を申し上げますと共に、日本財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆さまに謹んで感謝の意を表します。

### 記

事業名	送迎車（普通車）の整備
整備車両	日産セレナ 2WD/AT
事業費総額	2,128,920円
助成金額	1,490,000円
事業完了日	平成23年3月9日



夏祭りにて



『家庭倫理の会』によるトイレ清掃ボランティア

みなみの里では、ボランティア会員を随時募集しています。

ボランティアに興味がある方、やったこと無いけどやってみたいと思っっている方等、随時募集しています。

**資格等は一切要りません！**

みなみの里の利用者へのサービス向上の為にあなたの力を私達にお貸し下さい。

詳しくはみなみの里まで直接電話でお問い合わせ下さい。

（担当・知念淳一 随時随時みき）

みなみの里

# ボランティア 会員募集中



## 社会福祉法人志紋福社会 平成22年度決算報告

(単位：円)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	146,315,998	流動負債	18,354,142
現金・預金	93,727,560	未払金	15,882,325
未収金	52,370,068	預り金	2,471,817
前払金	218,370	固定負債	33,426,080
		設備資金借入金	9,200,000
		退職給与引当金	24,226,080
固定資産	431,810,165	負債の部合計	51,780,222
基本財産	323,595,317	純資産の部	
建物	174,561,567	基本金	229,033,660
土地	149,012,630	国庫補助金等特別積立金	112,254,210
基本財産特定前金	21,120	その他の積立金	74,000,000
		次期繰越活動収支差額	111,058,071
その他の固定資産	108,114,848	(うち当期活動収支差額)	13,074,815
		純資産の部合計	526,345,941
資産の部合計	578,126,163	負債及び純資産の部合計	578,126,163

資産・負債の内訳	金額
1 資産の部	
流動資産	146,315,998
固定資産	431,810,165
資産の合計	578,126,163
2 負債の部	
流動負債	18,354,142
固定負債	33,426,080
負債の合計	51,780,222
差引純財産	526,345,941

(単位：円)

(単位：円)

科目		金額
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	279,106,707
	補助事業等収入	32,834,629
	寄附金収入	3,639,000
	雑収入	9,459,822
	国庫補助金等特別積立金取崩額	6,257,946
	事業活動収入計①	331,300,104
	支出	
	人件費	219,992,181
	事務費支出	33,455,207
事業費支出	49,530,683	
減価償却費	13,450,546	
引当金繰入	1,912,960	
事業活動支出計②	318,341,577	
事業活動収支差額③=(①-②)	12,958,527	
事業活動外収支の部	収入	
	受取利息配当金収入	503,842
	経理区分間繰入金収入	10,115,805
	事業活動外収入計④	10,619,647
	支出	
借入金利息支出	387,550	
経理区分間繰入金支出	10,115,805	
事業活動外支出計⑤	10,503,355	
事業活動外収支差額⑥=(④-⑤)	116,292	
經常収支差額⑦=(③+⑥)	13,074,819	
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	1,490,000
	特別収入計⑧	1,490,000
	支出	
	固定資産売却損・処分損(売却原価)	4
国庫補助金等特別積立金積立額	1,490,000	
特別支出計⑨	1,490,004	
特別収支差額⑩=(⑧-⑨)	△4	
当期活動収支差額⑪=(⑦+⑩)	13,074,815	
繰越活動収支差額の部	前期末繰越活動収支差額⑫	103,983,256
	当期繰越活動収支差額⑬=(⑪+⑫)	117,058,071
	基本金取崩額⑭	
	基本金組入額⑮	
	その他の積立金取崩額⑯	5,000,000
	その他の積立金積立額⑰	11,000,000
次期繰越活動収支差額⑱=(⑬+⑭+⑮+⑯+⑰-⑱)	111,058,071	

科目		金額
經常活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	279,106,707
	補助事業等収入	32,834,629
	寄附金収入	3,639,000
	雑収入	9,459,822
	受取利息配当金収入	503,842
	経理区分間繰入金収入	10,115,805
	經常収入計①	335,661,805
	支出	
	人件費	219,992,181
事務費支出	35,368,157	
事業費支出	49,530,683	
借入金利息支出	387,550	
経理区分間繰入金支出	10,115,805	
經常支出計②	315,394,386	
經常活動資金収支差額③=(①-②)	20,267,419	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	1,490,000
	施設整備等収入計④	1,490,000
支出		
固定資産取得支出	6,503,958	
施設整備等支出計⑤	6,503,958	
施設整備等資金収支差額⑥=(④-⑤)	△5,013,958	
財務活動による収支	収入	
	積立預金取崩収入	5,000,000
	財務収入計⑦	5,000,000
	支出	
	借入金元金償還金支出	2,300,000
	積立預金積立支出	11,000,000
財務支出計⑧	13,300,000	
財務活動資金収支差額⑨=(⑦-⑧)	△8,300,000	
予備費⑩		
当期資金収支差額合計⑪=(③+⑥+⑨)	5,953,461	
前期末支払資金残高⑫	121,008,395	
当期末支払資金残高⑬+⑫	127,961,856	

## 感謝録

次の皆様より御寄付を頂きました。  
心より感謝の意を表します。

## 御芳名一覧(敬称略・順不同)

## ○夏祭り他御寄付

- 田頭喜雄・向オキツウ・みなみの里保護者会・真栄城嘉訓・川上文子・向マルヤス・向南部事務機・糸満開川給油所・今田ハナ・久保田ナエ子・向重上清寿・森田幸盛・向金城印刷・奥村幸巳啓子・久手堅憲一・久手堅米子・向サンキユウ・平和園コーラル・向三和総合設計・照屋義一・幸地浩・瑞慶覧昌伸・日琉舎ランドリー・新垣敏男・向具志頭給油所・久保田豆腐・司法書士事務所伊仲誠保・幸地潤景土木・大城武雄・大城武徳・照屋清子・渡慶次春信・比嘉文・高江洲朝作・宮里鶴子・村吉恒子・上原善榮・野原幸和・大城宜四郎和子・當銘隆・伊保春孝・大城正俊・山城勉・光生写真館・オフセツト印刷社・金城善昌・磯現代ツリースト・小谷弘子・久手堅憲秀・賀数研一・幸地浩秀・久手堅文・當山愛・兼城清治・上原精一・照屋幸一・渡名喜元榮・仲座次郎・安里勝恵・金城勝子・高良美代・嘉数重子・加藤生典・徳嶺嘉祥・島袋行正・伊藤隆光・田福榮子・新里子ヨ・伊芸関子・糸数盛朝・大城正廣・友利功・仲本洋子・前門商店(キヨ)・我謝清昇・ブリーガーデン・久手堅憲和・久手堅憲一・水子・久手堅憲榮・山城光子・島袋行弘・玉城盛久・伊敷芳和子・上原徳清・上原のぞみ・上原旦・具志堅政博・田原朝晴・當銘哲雄・仲宗根直也 京子・泉川ルミ子・山里望・大城毅洋子・真志喜朝清・稲嶺ツル子・長嶺江美・糸数盛夫・糸満市長・糸満市社会福祉協議会・上原宜成・山里朝盛・渡真和源吉・宮城健勇・我謝敏・仲間栄千・玉城善治・大城静江・西平賀雄・米須自治会・横田和子・上原善孝・ヘアースalon 画夢・沖縄県農業協同組合・米須簡易郵便局・京屋菓子店・名嘉榮・城間ヒロ・久保玉井昇一・大底ミヨ子・平良敏子・田頭高雄・平安山ヨシ子・金城弘・桑江常勇・久手堅憲太牧子・平仲信一・ヘアースalon スタイル・福元信夫・長嶺順子・稲福政榮・国吉ミツ子・謝名志磨子・謝名登・新城安常・伊集直子・玉城恵・具志堅昭子・久手堅憲昌・比嘉敬吾康子・新城美佐子・綾部弘子・新地武市・金城八重子・新城安子・上原美津枝・金城博・安谷屋保昭・大城敏昭・金城朝清・神山文子・玉城直子・玉城盛徳・新城洋子・米須老人クラブ・照屋ヨシ子・神谷美和子・前門清光・前門清順・上原祐太・山城直枝・上原広子・山城昭次郎・城間明美・徳村文栄・玉城和子・山城直治・賀数純子・稲嶺初江・港川厚子・前門剛・上原シゲ・富山洋子・大城正吉・玉城孝和・伊集房子・仲程清和・金城容子・徳嶺勝美・新城ハツエ・平田莉子・金城哲男・神谷良幸典子・宇座徳光・三和金属合資会社・木吉汎恒・大底克・新川ひとみ・みなみの里後援会
- 夏祭り物品寄贈  
沖縄綿久寝具株・ハマキョウバン・沖食商事・備瀬ふとん店・海邦銀行糸満支店・棟オキジム・琉球銀行糸満支店・沖縄銀行糸満支店・西崎そば・マルヤス・沖縄環境メシテナンス・サニクリーン沖縄南部営業所・琉球日産靴とよみ営業所・シルバーサービス



## 社会福祉法人 志紋福祉会

- 知的障害者生活（更生）支援施設「みなみの里」
  - 指定相談支援事業所「みなみの里相談支援センター」
  - 重症心身障害児（者）通園事業「なのはな」
  - グループホーム「サンフラワー」
  - 知的障害者短期入所事業
  - 生活介護事業
  - ★ホームページ
- <http://www.minaminosato.jp>



### 編集 後記

未曾有の大震災から5ヶ月近くが経ち復興に向け頑張っている被災地の方々を目にすると、胸が痛みます。『頑張れ日本』と！

8月の声を聞くと今年も「みなみの里夏祭り」の季節となりました。亡き理事長久手堅憲一は、みなみの里夏祭りが大好きで「お祭りを通して地域とのふれあいを大切にしてください」といつもおっしゃっていました。

また、同時に機関誌『みなみの里』の発行の時期となります。1年間の全体の活動や職員研修等が掲載されています。みなさんぜひご覧ください。

寄稿して頂いた方々には感謝申し上げます。

編集委員 山城範史・久手堅憲太・仲地良二・上原亜由美・久手堅文